

# 保証書

株式会社 カスタム  
印ス会

## 保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
  - 不適当な取扱い、使用による故障
  - 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
  - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
  - その他当社の責任とみなされない故障

機種名	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日より1か年	
お客様	お名前 様	
	ご住所	
	電話番号	
販売店	住所・店名	

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しく下さい。

総合計測器メーカー

株式会社 カスタム

〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12

PHONE (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137

**CUSTOM CORPORATION**

6-12, 3-chome, Sotokanda,

Chiyoda-ku, TOKYO, JAPAN 101-0021

## 測定上の注意

### 共通の注意

#### ⚡危険

AC/DC高電圧回路は非常に危険ですから、測定の際は十分に注意してください。

アースとマルチメータの端子間にACまたはDCの最大定格を超える電圧が加わらないように注意してください。

また、許容値を超える電圧を絶対に加えないください。

#### ⚡危険

感電の危険がありますので、濡れた手では絶対に操作しないでください。また、湿気の多い場所では使用しないでください。

#### ⚠警告

最大桁に“1”（オーバーレンジ）が点滅したときは、測定値が選択したレンジの最大値を超えています。

#### ⚡危険

測定中は、テストリード先端のピンに触らないでください。また、被覆の傷ついたテストリードは使用しないでください。

### 直流及び交流電圧測定の注意

#### ⚡危険

アースとマルチメータの端子間にACまたはDCの最大定格を超える電圧が加わらないように注意してください。

250V以上の工業用電力ラインでは使用しないでください。

また、許容値を超える電圧を絶対に加えないでください。

### 抵抗測定時の注意

#### ⚡危険

抵抗を測定する前に、必ず被測定回路の電源を切り離して、コンデンサを放電してください。電池を取り外して、電源コードを抜くのが最善の方法です。

あやまって電圧を加えないように注意してください。

## デジタルテスター

## 取扱説明書

### 導通チェック中の注意

#### ⚡危険

電圧のある回路や電線で導通チェックを行わないでください。あやまって電圧を加えないように注意してください。

### ダイオードテスト中の注意

#### ⚡危険

電圧のかかっているダイオードをテストしないでください。テストする前に、測定する回路から電源を全て切離し、コンデンサを全て放電してください。

## その他の注意

### 電池の交換

#### ⚡危険

マルチメータの電源を必ずOFFにしてください。

#### ⚡危険

カバーを取付け、ネジを閉めてから、測定を行ってください。

### テストリードの取扱について

#### ⚡危険

測定中は、テストリードの先端のピンには触らないでください。また、被覆の傷ついたテストリードは、使用しないでください。

### 修理および改造について

#### ⚡危険

当社もしくは当社が委嘱した者以外の修理、回路上の改造は危険ですから行わないでください。

## 安全にご使用いただくために

●本器を安全にご使用いただくために、次の事項を厳守してください。不適切な使いかたをすると、怪我や死亡事故につながることもあります。電気回路の取扱上の一般的な注意だけでなく、本項ならびに本取扱説明書に記載されているあらゆる注意事項について熟読し、操作の方法・注意事項を守ってください。

- 本器の測定範囲を超えた入力信号は、絶対に印加しないでください。本器の過入力に対しての最大許容入力は、以下の通りです。

ファンクション	最大許容入力
V	450V DC/ACrms
$\Omega$ 、 $\rightarrow$ 、 $\rightarrow$	450V DC/ACrms

- DC60V、AC30V以上の電圧レベルでは、感電の恐れがありますので、濡れた手での測定は絶対に行わないでください。

- 測定の前に、必ずファンクションの位置を確認してください。また、ファンクションおよびレンジを切り換えるときは、必ずテストリードを測定回路からはずしてください。

- 安全のため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、十分に操作を理解してから、正しくご使用ください。

- 安全記号について  
安全記号は、使用者が操作中に注意しなければならない事項について、⚡(危険)と⚠(警告)の記号で示しています。本書をお読みになる時に、本記号の箇所については、一層の注意を払ってください。



(危険) 端子に危険な電圧が印加されているなど、使用者が感電事故を起こす可能性を避けるための記号です。



(警告) 本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

#### ⚠警告

本器は弱電回路測定用です。安全上250Vを超える強電回路の測定は危険ですのでご使用しないでください。

## 1.仕様

表示 : 3.5桁LCD表示、最大表示“1999”

オーバーレンジ表示 : 最大桁に“1”表示

極性表示 : “-”のみ表示

ローバッテリー表示 : 表示部に“ ”マークが点灯

測定機能 : 直流電圧、交流電圧、直流電流、抵抗、導通チェック、ダイオードテストレンジ

使用温湿度 : 0℃～+40℃、<80%RH

保存温湿度 : -10℃～+50℃、<80%RH

電源 : 12V電池 (A23S/23A/23AE) ×1個 ※

保護回路 : ヒューズ 250mA/250V (φ5.2×20mm)

寸法・重量 : 70(W)×120(H)×18(D) mm、約110g

付属品 : 取扱説明書…1部

ソフトケース…1個

※内蔵電池はテスト用です。一部テスト用電池が装着されている場合には早めに新品の電池と交換してください。

## 2. 電気的性能

### ●直流電圧 (DCV)

レンジ	分解能	精度
2V	0.001V	± (0.5%rdg+1dgt)
20V	0.01V	± (0.8%rdg+1dgt)
200V	0.1V	
500V	1V	

### ●交流電圧 (ACV)

レンジ	分解能	精度
200V	0.1V	± (1.2%rdg+10dgt)
500V	1V	

### ●直流電流 (DCA)

レンジ	分解能	精度
200mA	0.1mA	± (2.0%rdg+2dgt)

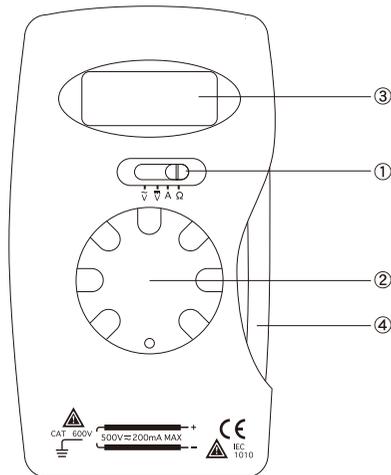
### ●抵抗 (Ω)

レンジ	分解能	精度
2kΩ	0.001kΩ	± (1.0%rdg+2dgt)
20kΩ	0.01kΩ	
200kΩ	0.1kΩ	
2000kΩ	1kΩ	

### ■記号の見方

$\tilde{V}$	交流電圧
$\overline{V}$	直流電圧
A	電 流
Ω	抵 抗

## 3. 各部の名称および機能



- ①ファンクションスイッチ  
直流電圧、交流電圧、直流電流、抵抗測定モードのモード切換スイッチです。
- ②レンジ切換スイッチ  
電源のON/OFFと測定レンジの切換スイッチです。
- ③表示部  
測定した値がデジタル表示によって示されます。
- ④テストリード  
対象物に接触させて測定します。

## 4. 測定方法

### 4-1 測定前の準備とご注意

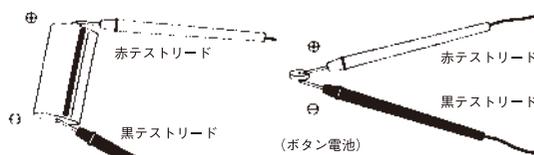
- (1) 開梱したら、すぐにキズや変色などの外観上の異常や付属品に欠品がないか等を確認してください。
- (2) 測定中にファンクションおよびレンジの切り換えを行う場合は、必ずテストリードを測定対象から外してください。
- (3) 周囲にノイズを発生する装置があったり、急激な温度変化がある場所で使用すると、表示が不安定になったり誤差が大きくなる場合があります。
- (4) 抵抗、導通、ダイオードの測定は、被測定回路中の電流が流れているとき測定ができませんのでご注意ください。
- (5) 本器を使用中に、外部の強力なノイズ等により表示に異常が発生するなど、測定ができなくなった場合には、一旦電源を切りししばらくしてから電源を入れ直してください。
- (6) 測定値が範囲外になるとオーバーレンジ表示（最大桁が“1”）になります。

### （備考）

テストリードを接続していない状態で、表示値が不規則に変化することがあります。これは、入力感度が高いために起きる現象で、故障ではありません。回路に接続したり、赤黒リードを接触すると表示値が安定して、正しい測定ができます。

### 4-2 直流電圧 (DCV) 測定

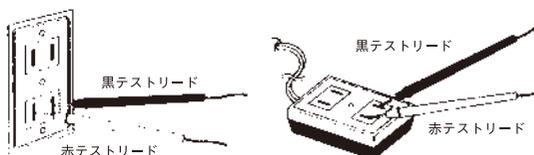
- (1) ファンクションスイッチを“ $\overline{V}$ ”の位置にセットしてください。  
測定できるもの…電池の電圧測定、自転車用バッテリーなど



- (2) レンジ切り換えスイッチを測定レンジに合わせてください。
- (3) テストリードを測定対象物に接触し表示値が安定したら表示を読みとります。

### 4-3 交流電圧 (ACV) 測定

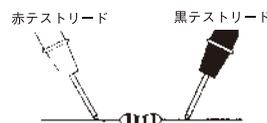
- (1) ファンクションスイッチを“ $\tilde{V}$ ”の位置にセットしてください。  
測定できるもの…家庭用電源、テーブルタップ、コンセントなど  
※テストリードの赤・黒は特に関係ありません。



- (2) レンジ切り換えスイッチを測定レンジに合わせてください。
- (3) テストリードを測定対象物に接触し表示値が安定したら表示を読みとります。

### 4-4 抵抗 (Ω) 測定

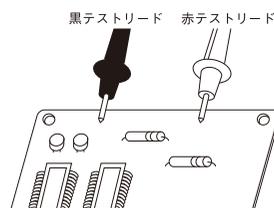
- (1) ファンクションスイッチを“Ω”の位置にセットしてください。
- (2) レンジ切換スイッチを測定レンジに合わせてください。



- (3) テストリードを測定対象物に接続し表示値が安定したら表示を読みとります。

### 4-5 直流電流 (DCA) 測定

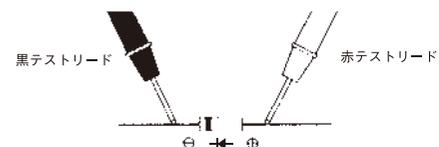
- (1) ファンクションスイッチを“A”の位置にセットしてください。
- (2) レンジ切換スイッチを200mAレンジに合わせてください。



- (3) テストリードを測定対象物に接続し表示値が安定したら表示を読みとります。

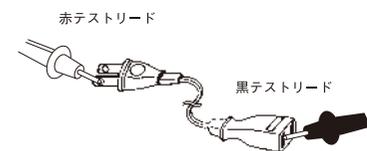
### 4-6 ダイオードテスト (→|)

- (1) ファンクションスイッチを“Ω”の位置にセットしてください。
- (2) レンジ切換スイッチを“→|”レンジに合わせてください。
- (3) ダイオードをテストリードに接続します。
- (4) 順方向測定は赤のテストリードにアノード(+)を黒のテストリードをカソード(-)側に接続します。逆方向測定は、その逆の接続をします。



### 4-7 導通チェック (→|)

- (1) ファンクションスイッチを“Ω”の位置にセットしてください。
- (2) レンジ切り換えスイッチを“→|”レンジに合わせてください。
- (3) テストリードをチェックする対象に接続します。チェック対象が導通しているときは“ピー”という音が鳴ります。



## 5. 電池の交換

- (1) 本体裏面のビスをドライバーで外します。
- (2) 本体の裏ケースを外し、電池を交換します。
- (3) ケースを元に戻し、ビスをしっかりと取り付けてください。  
電池は12V (φ10×28mm) です。